

算数オンライン塾 10月14日の問題 解説

(1)

$B+C=100$ $B+D=85$ $A+C+D=135$ $A+D=71$ から

$C=64$ $B=36$ $D=49$ $A=22$

(答え) A 22 B 36 C 64 D 49

(2) ある2つの数の和は100で、奇数はDだけだから考えられるのは偶数の和しかないので、 $A+B$ $A+C$ $B+C$ のどれか。

3つの和は奇数になっているので、Dは入っており、それ以外の数は偶数だから $A+B$ 、 $A+C$ 、 $B+C$ のどれか。

$A+B=100$ のとき、 $71+85-100=56$ $56\div 2=28$ で偶数になるから、 $A+B=100$ ではない。

$B+C=100$ のとき、

$B+C+D=135$ であれば $D=35$

$A+C+D=135$ であれば $D=49$

$A+B+D=135$ であれば $71+85-135=21$ がD

$A+C=100$ のとき

$A+C+D=135$ であれば、 $D=35$

$B+C+D=135$ であれば $C=50$ $A=50$ となるので、すべての数が異なる条件に反します。

$A+B+D=135$ であれば $A=50$ $C=50$ となるので、すべての数が異なる条件に反します。

(答え) 21、35、49